

総合情報学部・総合情報学研究科博物館  
「Kansai University Museum of Informatics」  
利用者ガイドライン

第1版  
2021年11月10日(木)

## 目次

### 目次 ii

1.	はじめに .....	1
2.	ねらい .....	2
2.1	KUMI について .....	2
2.1	KUMI の利用について .....	2
2.2	機材の取り扱いについて .....	2
2.3	機材の故障に対する補償について .....	2
2.4	アクティブ・ラーニングとしての利用について .....	2
2.5	KUMI の管轄について .....	2
3.	留意事項 .....	2
3.1	情報システムの利用について .....	2

## 1. はじめに

総合情報学部は、1994年に学部を開設し、3つのポリシー(ディプロマ・ポリシー、カリキュラム・ポリシー、アドミッション・ポリシー)に基づき、次世代を切り拓く先進的人材の育成を目指している。

総合情報学部C棟3階学生サービスステーション内にある、高槻キャンパス事務室エリアについては、この度、総合情報学部・総合情報学部研究科博物館「Kansai University Museum of Informatics」(仮称)(以下、KUMIとする)として、総合情報学部・総合情報学部研究科における教育・研究拠点の一つとして位置付け、情報革命時代の黎明期における、ハードウェアやソフトウェアの展示を行う等の活用としている。

また、展示するだけに留まらず、実際に見て・触ることで、活きた教材としての再利用を可能としており、正課授業への理解度を促進する機能も兼ね備えている。

加えて、正課外授業におけるアクティブ・ラーニングとして、本学授業支援グループが管轄しているような施設、つまり物理的な教育・研究拠点としても展開が可能であり、教職員と学生が、活発に議論を交わし、知的好奇心の向上に資することを目指している。

さらに、将来的展望として、教育・研究拠点のみならず、教職員・学生・契約業者間での打合せ、「デジタルトランスフォーメーション(DX)」の実験・検証、最先端アプリの研究・開発、コンピューティング系サークルの活動場所としても機能させることを目標としている。

高槻キャンパスオフィスは、引き続き、変化の激しい情報革命時代において、KUMIにて貴重な資産を蓄えるとともに、教育・研究活動への一助となることを期待したい。

## 2. ねらい

### 2.1 KUMI について

KUMI は, 教育・研究活動の拠点であり, ハードウェアやソフトウェアを実際に動かすことで, 活きた知見として, 情報学における知識や技術の習得の場とする.

### 2.1 KUMI の利用について

KUMI は, 総合情報学部・総合情報学研究科の構成員に留まらず, 所定の手続きにより誰でも見学することができる.

### 2.2 機材の取り扱いについて

KUMI で管理している機材は, 実際に触って, 動かすことができる.

### 2.3 機材の故障に対する補償について

EOL(End Of Life)を迎えている機材が多いことに鑑み, 壊れた際の補償については, 利用者に対してこれを一切問わない.

### 2.4 アクティブ・ラーニングとしての利用について

KUMI は, 正課外授業としてのアクティブ・ラーニング機能を兼ね備えており, 正課授業で学んだ内容を現場で実際に経験することができる. 博物館資料の取り扱いや教育・研究活動の一端を担うことにより, 情報学を学ぶ者としての責任感や社会意識を身に付け, 本学が目指す「学理と実際との調和」である「学の実化」を実現することを目的とする.

### 2.5 KUMI の管轄について

KUMI 及び KUMI の資産については, 高槻キャンパスオフィスが管轄する.

## 3. 留意事項

### 3.1 情報システムの利用について

「学校法人関西大学情報システム運用基本規程」「学校法人関西大学情報システム利用規程」に準ずる.

以 上